

8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (中国)	良くなる	百貨店（購買担当）	・クリアランスセールに突入するが、アパレル関係はセールの商品を作っているわけではなく、秋物で売れ残った物が安くなるということで時季外れな商品もあるため、客の購買意欲につながらない。
		通信会社（営業担当）	・2～3月は新高校生を始めとした新生活需要で一年間のなかで一番販売が見込める時期となる。販売が好調になるゆえに来店数も増え、客を待たせる時間が発生して満足度低下が懸念されるため、そうならないよう努めていく。
	やや良くなる	商店街（理事）	・政権が交代し、現状よりは良くなる。
		商店街（代表者）	・株の動きや円相場によるが、前の政権とは違う風が吹く。
		一般小売店〔酒店〕 （経営者）	・政権が自民党に移り、財布のひもが緩むのを期待している。
		一般小売店〔紙類〕 （経営者）	・地元の中距離の客が増加しており、商圈が広がっている。
		百貨店（営業担当）	・総選挙後の円安、株高の影響で気分的に景気が戻りつつある。また、当館の売上も少し戻ってきているので、この状況が続くことを期待している。
		百貨店（営業担当）	・紳士物が絶好調である。
		百貨店（売場担当）	・政権交代で景気が回復していくことを期待する。
		衣料品専門店（経営者）	・輸入もの中心なので、円安傾向で逆に単価が上がる。
		衣料品専門店（経営者）	・政権が変わり、少しでも株価等が上がると消費者の気持ちは随分変わり商売もやりやすくなる。
		乗用車販売店（業務担当）	・1～3月の大増販期を迎え、販売増加が見込まれる。
		乗用車販売店（営業担当）	・政権が変わったことによって株価が上がり、株を保有している客からいい話が出てくるようになってきている。景気は今より良くなる。
		乗用車販売店（営業担当）	・株価の動き等で景気は良くなる傾向である。
		乗用車販売店（副店長）	・建設・土木関係を中心に活気付いてくると予想される。
		自動車備品販売店（経営者）	・新総理効果なのか政権交代のおかげなのか、少し世の中が明るくなっている。景気にも期待感が出ている。
		その他専門店〔布地〕 （経営者）	・政権交代で景気回復に力を入れるようなので期待している。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（支配人）	・景気に対する期待感から消費動向に変化が現れるには時間がかかるが、厳冬予報から初売りやバーゲンでの衣料防寒関連、暖房関連のニーズの高まりが期待できる。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（運営担当）	・マクロの視点から見ると、新政権の金融緩和（円安誘導）による輸出関連企業の復調が期待できる。広島県は自動車を中心とした製造業の業績が回復すると連動して景気が良くなるため期待している。
		一般レストラン（経営者）	・政権が交代し景気対策があると期待する。景気が良くなる。
		スナック（経営者）	・政権が代わり景気対策に力を入れているので、少し良くなると期待している。
		都市型ホテル（スタッフ）	・選挙が終わって株価も上がっており、宴会の受注も順調に入っている。
		都市型ホテル（企画担当）	・消費の抑制による反動を期待する。物価上昇の駆け込み需要がある。
		旅行代理店（経営者）	・政権交代により景気改善施策に期待している。
		タクシー運転手	・選挙が終わったので少しは上向く。
		通信会社（企画担当）	・年末の総選挙の結果を受けての期待感が接客で感じられる。
		通信会社（工事担当）	・3月は需要が多くなる月なので、願望も込めて増加しないと困る。
		美容室（経営者）	・自民政権に期待をしている人も多く、少し気分的にも活動しやすい環境になる。
	設計事務所（経営者）	・選挙で自民党が圧勝し、防災・減災対策の公共事業を景気対策として掲げているので少しは仕事量が増える期待感がある。	
	設計事務所（経営者）	・消費税増税前に住宅を取得したい客は多いが、景気の先行きが不安なので踏み切れていない。政権が交代して景気対策が発表されれば、そのあたりの需要が見込める。	
	住宅販売会社（従業員）	・客が動いている状況であるが、慎重である。	

	住宅販売会社（販売担当）	・消費税増税へ向けた駆け込み需要が見込まれる時期に入る。政権交代の期待感も含めてテコ入れの効果が見込まれる。
変わらない	商店街（代表者）	・特に良くなる要素が今のところ見当たらないので変化はない。
	商店街（代表者）	・政権交代で経済的に好条件が出ているが、インフレターゲットが続くと大変なことになる心配がある。
	商店街（代表者）	・政権が交代したが、末端の我々に影響が来るのはかなり後の話である。まわりの人や同業者、取引先の人にもいい話は聞かれない。
	一般小売店〔靴〕（経営者）	・季節の変化で人や物は動き、現状より悪くはならない。
	一般小売店〔印章〕（経営者）	・年末の注文も減少し、景気は良くならない。
	一般小売店〔酒店〕（経営者）	・地方の小さな市にとって少子高齢化や人口減により厳しい状況が続くが、新政権は経済政策を重視しているようなので期待している。
	百貨店（営業担当）	・気温次第であるが、セールの長期化に伴い年明けからのセールインパクトが年々薄れている傾向があるため苦戦が予想される。
	百貨店（電算担当）	・来店数が減少傾向であるが、売上は前年比1.8%増で良くも悪くもない。化粧品のように客が固定しているところはぶれない。冬物衣料が動きだし、宝石と寝具が好調である。訪問販売も行っており、来店を待っても売れない時代である。
	百貨店（販売担当）	・景気回復の期待はあるが、しばらくは現状維持で推移する。
	百貨店（営業推進担当）	・小売業としては、円安、株高は心理的に好材料であるが、ドラスティックに改善するとは考えにくい。
	スーパー（店長）	・地元の基幹産業の景気が回復しない限り地元生活者の節約志向は続く。
	スーパー（店長）	・政権が交代して期待はするが個人消費回復には時間がかかる。
	スーパー（店長）	・客数は前年比でほぼ100%である。
	スーパー（総務担当）	・安価な商品の購買が目立つので上昇は期待しづらい。
	スーパー（業務開発担当）	・来店客の高齢化率が上がっているため、日常は必要なものだけを最小限に購入し、日持ちする食料品や日用品はバーゲンのときに買うことが定着している。
	スーパー（販売担当）	・客単価に若干の上昇が見られるものの、相変わらず客数は上向かず、しばらく変化は見られないと判断している。
	スーパー（管理担当）	・客数が上昇する兆しがなく、現状維持と予測する。
	スーパー（営業システム担当）	・クリスマスを終えたが売上はやはり伸びなかった。急な寒波のため、人が外出しないなどの影響もあるかもしれないが、前年よりも大幅ダウンである。年末になって伸びるというのは考えにくく、冬のボーナスも使うのではなく、貯めていこうという流れは変わらない。
	コンビニ（エリア担当）	・現状がしばらく続くが、商品単価が落ちているので客が増えたとしても売上は減少する。一方でモバイルカードを購入する客が増え単価も上昇しているが、それ以外の売上に変化はない。
	コンビニ（エリア担当）	・100円未満のパンが市場的にかなり広がっているため今後も力を入れていくが、単価に限度があるので販売量がどこまで伸びるか不透明である。
	コンビニ（エリア担当）	・来客数減少傾向は下げ止まりになるが、上向きになるのはまだ先である。
	コンビニ（副地域ブロック長）	・政権交代で新内閣が経済対策を打ち出しているが、効果が出てくるのはまだ先である。
衣料品専門店（地域ブロック長）	・景気回復はないが、現状のまま推移する。	
家電量販店（店長）	・政権交代で景気対策に力を入れるという報道があるが、市民まで浸透するのは時間がかかる。	
家電量販店（企画担当）	・話題にのぼるような新製品の発表などが無い限り、特に期待できるものがない。	
乗用車販売店（店長）	・決算期を迎えるなかで客の動きを期待するが、今年はその気配がない。	
その他専門店〔和菓子〕（経営者）	・極端な増加要素が見当たらない。	
その他専門店〔海産物〕（経営者）	・客の様子からも景気が上向く雰囲気はまだ感じられない。	
高級レストラン（スタッフ）	・正月あたりの家族連れ予約は順調であるが、それ以降はまだ分からないのでしばらく様子見である。	

一般レストラン（経営者）	・政権交代による一時的な期待感があり、地方経済も活発に投資を行える環境は整う。ただし実際の客動向に変化が生じるのは来年度以降になるので、数か月での客動向は変化しない。
一般レストラン（外食事業担当）	・政権が交代して景気高揚が始まるが、製造業やIT関係とは異なり、物販や飲食はまだ買い控えの状況が続く。公共料金の値上げが拍車をかけ、客の購買意欲を抑える。
観光型ホテル（支配人）	・2月までの予約の入込状況は一般宴会が前年を上回っているものの婚礼宴会がマイナスで、トータルとしては前年並みである。3月下旬からの瀬戸内海地域での大型イベントも当地にはさほど波及効果は期待できない。
都市型ホテル（総支配人）	・1～2月の予約状況はビジネス客を中心に対前年比マイナスとなっており、現在の厳しい状況は変わらない。
都市型ホテル（企画担当）	・客数は若干増えているものの、同業者間の価格競争が激しく、販売単価が下がり利益が上がらない。
タクシー運転手	・景気が良くなる話を聞かない。
タクシー運転手	・自粛ムードであまり良くはならない。
タクシー運転手	・忘年会シーズンであるが、金曜日と土曜日だけ忙しく、以前と違う世界になっている。
通信会社（社員）	・客の問い合わせなどに変動がない。
通信会社（通信事業担当）	・加入キャンペーンなどの反応も鈍く、見込み客の数もほとんど増えておらず、厳しい状況が続いていく。
通信会社（営業担当）	・地上デジタル放送化完了後、放送サービスへの関心が薄れており、今後もこの傾向に変化はない。
通信会社（総務担当）	・景気回復に期待したいが、すぐに事業が好転することはない。
通信会社（広報担当）	・変化を及ぼす決定的な策が現状はない。
テーマパーク（管理担当）	・政治的变化、株価上昇により期待感があるが、地方に影響が出るのには時間がかかる。
テーマパーク（広報担当）	・例年好評のイベントの期間を延長する予定にしており、来客の増加が期待できる。
ゴルフ場（営業担当）	・例年1～2月は閑散期であり、集客が大きく変わることはない。来客数は12月より30%くらい下降の見込みであるが、予定どおり推移する。
その他サービス〔介護サービス〕（介護サービス担当）	・この一年、身のまわりで景気の変化が見られなかったことから考えても、よほどの事がない限り今後2、3か月で景気に変化するとは考えにくい。
設計事務所（経営者）	・消費税増税の効果が出るまでもう少しかかる。
住宅販売会社（営業担当）	・税制制度の改定について客の様子を見ている状況であり、消費税増税の駆け込み需要も今のところ期待できない。
やや悪くなる	
百貨店（販売促進担当）	・12月末に地元大手企業の第二次リストラが行われ、数百人の離職者が想定されている。この状況は今後の景気高揚には大きなマイナス要因となる。
百貨店（売場担当）	・地域の雇用悪化が顕在化してムードが非常に悪い。政治への期待感はあるものの、需要が高まる新商品や新しい企画がない。全般に生活防衛的な低価格商品に需要がシフトすると予測される。
スーパー（店長）	・政治が安定せず、国民生活は不安定なままである。
スーパー（販売担当）	・競合店とチラシが入る日がかぶることが増え、内容によっては来客数が減少するので売上の増加は見込めない。
衣料品専門店（地域ブロック長）	・今後も景気が良くなる材料がなく、現状のまま推移する。
家電量販店（店長）	・インターネットショッピングがライバルとなりつつあり、店舗のショーウィンドウ化がさらに加速する。消費税増税前の駆け込み需要までは時間があるが、徐々に上向きとなる。
家電量販店（店長）	・年末で来客数は増加したが、2～3月は閑散期となり現在より来客数は10%ほど低下する。
乗用車販売店（統括）	・昨年は補助金効果による販売増加があったが、今年は1月から厳しい状況が続く。
乗用車販売店（店長）	・販売台数は前年を割り込む状況で客の動きも鈍くなっており今後の期待ができない。
自動車備品販売店（経営者）	・商圏内の大企業のリストラで、間違いなく個人消費が減少する。
その他専門店〔時計〕（経営者）	・増税などの影響で購買マインドは上向かないと考えている。需要の取り合いが更に激しくなる。
その他専門店〔ファッション雑貨〕（従業員）	・上向き要素がなく更に需要は落ち込む。
一般レストラン（エリア担当）	・今後も単価の低下は避けられそうにない異常事態となっていく。

		<p>その他飲食 [サービスエリア内レストラン] (支配人)</p> <p>観光型ホテル (スタッフ)</p> <p>競艇場 (職員)</p> <p>その他レジャー施設 (アミューズメント)</p> <p>美容室 (経営者)</p> <p>美容室 (経営者)</p>	<p>・この冬は寒さが厳しいという予報で、気温が低いと客の動きが鈍く立ち寄り率が下がるので良い状況ではない。</p> <p>・ここ最近の販売量、来客数が例年より良かったので、今後落ちる可能性は高い。</p> <p>・年末ほど売上が見込めるレースの開催がないので販売量は悪くなる。</p> <p>・映画を観た後の娯楽目的の客の来店数が落ち着き、客単価の伸びはあまり期待できないため好調な12月より落ち込む。</p> <p>・長引く不況でこれから良くなることはない。</p> <p>・年末需要が終わり、1月から春先まで髪を切る客が減少するので売上は下がる。</p>
	悪くなる	<p>商店街 (代表者)</p> <p>商店街 (代表者)</p> <p>一般小売店 [茶] (経営者)</p> <p>スーパー (店長)</p> <p>スーパー (財務担当)</p> <p>テーマパーク (業務担当)</p>	<p>・冬が一番寒い時期を迎え、中高年客の多い商店街の客足は減少する。</p> <p>・政権交代をしたからといって景気がすぐ良くなることはない。</p> <p>・選挙結果にかすかな希望を持っている。とにかく経済が良くなってもらわないと困る。</p> <p>・平均単価の下落、客数の減少、地域商圏マイナス1.5%の人口動態の状況から良くなるとは考えにくい。</p> <p>・年末年始の反動による節約で客単価が下落し売上が減少する。</p> <p>・冬季閑散期に入るため来園者が減少する。</p>
企業動向関連 (中国)	良くなる	<p>輸送用機械器具製造業 (経営者)</p> <p>建設業 (総務担当)</p> <p>不動産業 (総務担当)</p>	<p>・3か月先も自動車部品関係の受注量は増えて景気は良い。</p> <p>・大型物件の受注でこの先しばらく忙しい状況が続くことが予想される。</p> <p>・賃貸住宅の需要時期に入るため、来店数・成約件数は大幅に増える。</p>
	やや良くなる	<p>化学工業 (経営者)</p> <p>鉄鋼業 (総務担当)</p> <p>鉄鋼業 (総務担当)</p> <p>通信業 (営業企画担当)</p> <p>通信業 (営業担当)</p> <p>広告代理店 (営業担当)</p> <p>コピーサービス業 (管理担当)</p>	<p>・主要原料の苛性ソーダの値上げ発表により仕入単価の上昇懸念はぬぐえないが、実勢価格は当面現行水準が続く見通しであり、近時の円安も手伝って取引先の輸出向け需要が緩やかに伸びる見通しである。</p> <p>・新政権の経済対策が奏功すると考える。</p> <p>・政権交代によるマインド上昇が期待される。</p> <p>・情報通信関連の効率化提案への需要が高まっており、今年度一杯は提案機会が見込まれる。</p> <p>・政権が自民党に代わり金融緩和ならびに公共投資など景気対策を打ち出していることから、中小企業などの雇用回復や設備投資などが上向く。</p> <p>・3月は様々な方面での動きが活発になる時期で、受注量も拡大路線に向かい、新規開拓及び既存の受注量アップに期待する。</p> <p>・経済対策としての公共事業投資により複写需要の増加を見込んでいる。</p>
	変わらない	<p>食料品製造業 (総務担当)</p> <p>繊維工業 (統括担当)</p> <p>木材木製品製造業 (経理担当)</p> <p>化学工業 (総務担当)</p> <p>非鉄金属製造業 (経理担当)</p> <p>一般機械器具製造業 (経理財務担当)</p> <p>電気機械器具製造業 (総務担当)</p> <p>輸送用機械器具製造業 (経営企画担当)</p> <p>輸送用機械器具製造業 (総務担当)</p> <p>その他製造業 [スポーツ用品] (総務担当)</p> <p>建設業 (経営者)</p> <p>輸送業 (業務担当)</p> <p>金融業 (営業担当)</p>	<p>・12月の売上が良ければ翌月は落ちる。</p> <p>・新内閣に期待する。</p> <p>・新政権による具体的施策がまだ定まらない現時点では、円安継続か消費税増税がどうなるのか予測が難しい。</p> <p>・景気対策等の効果がまだ見えない。</p> <p>・金属価格は上昇傾向で市況のマインドも好転しているようであるが、具体的な数字として表れていない。</p> <p>・国内需要増加の兆しが見られない。</p> <p>・新政権への期待はあるものの製造業の不振は根が深く様子見で推移する。</p> <p>・ここ1~3か月は受注の予想数量に対し実績が減少している。</p> <p>・今後も受注量の増加に期待が持てない。</p> <p>・金融緩和や大型公共事業投資により一時的には盛り返すかもしれないが、大企業は別として中小の製造業に抜本的な制度改革がなされない限り、継続的な景気回復は望めない。</p> <p>・政権交代で補正予算などが出るといって期待感はあるが、この先変化はない。</p> <p>・落ち込みの大きい客の見通しが現段階では見えてこない。</p> <p>・政権交代があり一部経営者には景気回復に前向きな意見もあるが、急激な景気改善を見込む人は少ない。特に当地では都市部より景気回復が遅れる傾向にあり、今後2~3か月は現状とあまり変化のない景気が続く。</p>

		会計事務所（職員）	・製造業はやや上向き気配があるものの、公共工事関係は現状では例年と比べても受注高が減少傾向にある。飲食やサービス関連も上向きに転ずる気配は見られない。
やや悪くなる		農林水産業（従業者）	・9月以降はほとんどの漁種で前年割れしており、近年にない不漁で水揚げ数量・金額ともに厳しい状況が続く。
		食料品製造業（総務担当）	・消費が冷え込んでいるなかで生産の増加が見込めない。
		窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	・ゴミ焼却炉向け工事案件の製造の時期であるが、鉄鋼向け受注の陰りがあるため生産量は下降する。
		金属製品製造業（総務担当）	・厳しい状況が好転するとは考えにくい。得意先の商談に中国向けの案件が戻り始めてきた。ただし造船業界からの値下げ要請が確実視されており、どこまで受けるべきか検討している。受注量自体も少なく、造船業界はかなり厳しい。
		電気機械器具製造業（総務担当）	・取引先の発注がなくなる見込みである。
		輸送業（総務担当）	・当社の売上減少に歯止めがかからない。既存客の減少が大きく、新規客の売上ではカバーすることができない。
		金融業（自動車担当）	・欧州経済や中国の混乱はあるが、世界全体では新型エコカーの需要が順調に増大すると期待できる。為替も円安に動き輸出採算は改善が続く。
悪くなる		一般機械器具製造業（総務担当）	・受注量や販売量の動きが悪い。
雇用 関連 (中国)	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社（社員）	・政権交代の影響で株価も上がり円安の傾向も出ている。企業でも経済好転の期待感が膨らみ、新年度へ向けて採用活動が活発になると予想される。
		人材派遣会社（営業担当）	・政権交代をしたことで良くなって欲しいという期待がある。
		民間職業紹介機関（人材紹介担当）	・株価も上昇し経済対策への期待が高まっており、全体の意識が景気回復に向かっているため、企業も消費者も活発な活動に転じる。
		学校〔大学〕（就職担当）	・2014年度新卒者対象の求人が昨年より増える傾向にある。
変わらない		人材派遣会社（営業担当）	・人材派遣の需要に関しては、製造業では全般的に需要が落ちたままで推移し、増員というよりは欠員補充といった意味合いでの需要がほとんどでその傾向は続く。
		求人情報誌製作会社（広告担当）	・政局が変動して景気回復に対策を引き続き講じるということであるが、地方企業もいまだ様子見という状況で特に期待感をもっている様子はなく、冷静に静観しているという感じである。
		求人情報誌製作会社（採用支援担当）	・企業の求人が減っている印象は受けない。景気自体が多少悪くなっても、米国の大手金融機関の破たん以降の求人を抑えた反動がしばらく続く。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・政権が代わって景気上向きへの期待感からか、周辺企業に「人手が欲しい」ともらすところが出始めている。
		職業安定所（産業雇用情報担当）	・パートや臨時求人、派遣求人は増加しているが、正規雇用の求人は減少傾向にあり、先行きは不透明である。
		民間職業紹介機関（職員）	・新政権の施策に左右されることから現時点でどちらに転ぶか判断できない。ただ、円安に伴う輸出関連株の上昇など浮揚要素があることから良くなる可能性がある。
		学校〔短期大学〕（学生支援担当）	・大きな動きは見られない。
		その他雇用の動向を把握できる者〔労働機関〕（職員）	・来春の新規学卒求人が、件数では前年を上回ったものの募集人数が絞られているため低水準で推移している。新たな企業誘致の大量採用の話も複数あるが、来年・再来年以降のことであり、今現在の求人には結び付かない。
やや悪くなる		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・ここ10年ほど日銀は金を出し、銀行から国債も買っているがデフレは収まっていない。国内の投資機会が限られ使い道がないから金が銀行に留まっている。更に金を出してもデフレ、円高の克服は難しい。
		職業安定所（雇用開発担当）	・有効求人数の伸びが前年同月比12%増と先月までの17～18%増に比べ減少している。このため有効求人倍率も今年5月から順調に前月を上回っていたが、有効求職者数が減少しているにもかかわらず減少に転じた。また、正社員求人を含む新規求人数も同年前月に比べてこの3か月間は減少している。
		職業安定所（産業雇用情報担当）	・管内の事業所で店舗閉鎖の予定があり、求職者が増加する。
悪くなる		-	-